

いちごドリルプリント

答え合わせ・解説

問1	答え 1 近郊農業	大都市の周辺で、輸送コストを抑えつつ鮮度の高い農産物を供給する形態は近郊農業と呼ばれます。千葉県はこの近郊農業の代表的な県であり、キャベツや落花生、梨などの多様な品目が生産されています。
問2	答え 4 皇居外苑の南側に位置し、幕末に開国を断行した大老・井伊直弼が暗殺された場所である。	桜田門は地形図上で皇居外苑の南側に確認でき、現在の法務省や警視庁と向き合う位置にあります。歴史的には1860年に水戸浪士らによって井伊直弼が殺害された「桜田門外の変」の現場として非常に有名です。地理的な位置関係（官公庁街との隣接）と、歴史的事件を関連付けて理解することが求められます。
問3	答え 1 関東地方で行われている近郊農業	関東地方は、東京や横浜などの人口が密集する大消費地を抱えています。野菜は鮮度が重要であり、輸送距離を短くできる都市近郊での栽培が有利に働きます。このため、関東地方の農業産出額では野菜の占める割合が非常に高く、約4割に達するという特徴があります。
問4	答え 4 国の研究機関や大学が数多く移転・集積し、市外から通勤・通学する人が多いため	筑波研究学園都市は、東京の過密解消と科学技術の振興を目的に、国の研究機関や大学を計画的に移転して作られた都市です。そのため、高度な専門知識を扱う職場や教育施設が集中しており、周辺の自治体から多くの研究者、職員、学生が通勤・通学してくることで、昼間の活動人口が夜間の居住人口を上回る特徴を持っています。
問5	答え 3 キャベツ	群馬県の吾妻地域にある標高800mから1400mの高原地帯では、夏の冷涼な気候を活かした「抑制栽培」によって、夏から秋にかけてキャベツが大量に生産されています。この時期は平地での生産が困難なため、東京都中央卸売市場などにおいて群馬県産の占める割合が非常に高くなります。
問6	答え 4 明治天皇への直訴	栃木県出身の衆議院議員であった田中正造は、足尾銅山から流出する鉱毒によって苦しむ農民を救うため、国会で厳しく政府を追及しました。しかし、政府が有効な対策を講じなかったため、議員を辞職した後に明治天皇へ直接訴状を渡す「直訴」という命がけの行動に出て、公害問題を社会問題として大きくクローズアップさせました。
問7	答え 1 高速道路網の整備により、内陸部への工場の進出が容易になったため	北関東工業地域は、内陸部に位置しながらも高速道路網を利用した効率的な物流が可能になったことで、自動車工業や電気機械工業などの加工組立型の産業が盛んになりました。地価の安さや広い用地を求めて、都心や沿岸部から工場が移転・新設されたことが発展の背景にあります。
問8	答え 4 目的地までの距離が遠くなるほど、移動にかかる所要時間の短縮効果が、鉄道に比べて航空機の方が大きくなるから。	交通手段の選択には、目的地までの距離と所要時間が大きく関係しています。一般に、移動距離が数百キロメートルを超える長距離になると、新幹線などの鉄道よりも、高速で移動できる航空機の方が時間的な優位性が高まります。東京―大阪間のように新幹線と航空機が激しく競合する区間もありますが、より距離のある札幌や沖縄方面では航空機の利用が圧倒的に多くなり、旅客輸送数の増大につながっています。
問9	答え 4 自然増加率がマイナスに転じたことで、東京都の人口増加は他地域からの流入（社会増加）に依存する構造がより鮮明になった。	東京都では少子高齢化の影響により、出生数が死亡数を下回る「自然減（自然増加率のマイナス）」が発生する年があります。それにもかかわらず東京都の人口が維持・増加しているのは、それを補って余りある転入超過（社会増加）があるためです。このように、自然増加と社会増加のバランスが極端に社会増加へ偏っているのが、日本の首都である東京都の人口動態の大きな特色です。
問10	答え 1 東京都	政治や経済、教育の諸機能が高度に集中している東京都では、近隣の県から通勤・通学のために流入する人口が非常に多いため、昼間人口が夜間人口（常住人口）を大きく上回ります。特に、労働力となる15歳から64歳の生産年齢人口の割合が高いことは、企業や官庁が集中する大都市特有の構造を反映しています。これに対し、埼玉県や茨城県などは、夜間人口に対して昼間人口が少なくなる傾向にあります。
問11	答え 3 都心回帰現象	高度経済成長期以降、都市部では地価が上昇したために居住地が郊外へと広がるドーナツ化現象が起きていました。しかし、1990年代後半以降、バブル崩壊による地価の下落や、都市中心部での大規模な再開発による高層マンションの建設が進んだことで、利便性を求める人々が再び都心に住むようになりました。
問12	答え 2 関東ローム	関東平野の大部分を覆うこの土層は、富士山や箱根山、浅間山といった周辺火山の噴火によって放出された火山灰が風で運ばれ、堆積したものです。この層は酸化した鉄分を含むため特有の赤色を呈しており、関東平野における台地の主要な構成要素となっています。九州南部に広がる火山灰由来の白い地層「シラス」と混同しないよう注意が必要です。
問13	答え 4 大消費地向けの近郊農業	都市の周辺で、その都市の需要に応えるために行われる農業を近郊農業と呼びます。野菜などの生鮮食品と同様に、鮮度が求められる生乳を生産する酪農も、輸送コストや時間を抑えられる都市近郊の利点を活かして展開されています。これは土地の広さよりも、市場との距離の近さを重視した経営形態です。